

# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 J - アスラポート  
 コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 將典  
 問合せ先責任者 (役職名) 法務総務部長 (氏名) 尾崎 富彦

TEL 03-6311-8892

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,972	13.7	361	9.4	341	0.4	360	141.5
29年3月期第1四半期	8,769	136.1	399	127.4	339	100.6	149	11.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 337百万円 (311.1%) 29年3月期第1四半期 82百万円 (64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.05	
29年3月期第1四半期	5.33	5.27

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,314	8,052	28.3
29年3月期	27,722	7,715	26.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,735百万円 29年3月期 7,371百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.4	1,200	11.2	1,070	16.0	610	15.8	20.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	29,890,439 株	29年3月期	29,890,439 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,400 株	29年3月期	2,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	27,888,039 株	29年3月期1Q	27,985,563 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益に改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、英国のEU離脱問題や米国新大統領の政策の不確実性による影響など、先行きは不透明な状況が続いております。外食及び食品生産業界におきましては、消費者の節約志向の根強さ、慢性的な人手不足による人件費コストや物流関連コストの上昇による利益の圧迫などにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境下で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題へ積極的に取り組み、当社グループの事業規模の拡充に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間の当社グループの取り組みは、次のとおりであります。

「既存ブランドの競争力強化と成長」におきましては、当第1四半期末の店舗数は717店舗（前年同四半期比で39店舗増）となりました。この増加の要因は、前期11月に子会社化した株式会社ドリームコーポレーションのベーカリー業態「ベーグル&ベーグル」など43店舗のほか、既存ブランドの「牛角」9店舗などが増加したことによります。なお、当社グループの主要販売4社（株式会社プライム・リンク、株式会社とり鉄、レゾナンスダイニング株式会社及び株式会社どさん子）は、平成29年4月1日付で合併し、株式会社アスラポートとしてスタートしております。コスト削減を図ると同時に、リブランドやリロケーションを積極的に進めてまいります。

「ブランド・ポートフォリオの多様化」におきましては、当社が日本における独占ストアライセンスを有するベーカリーカフェブランド「ル・パン・コティディアン」に、ディナーメニューを充実した日本旗艦店となる「ル・パン・コティディアン 東京ミッドタウン店」を6月にオープンいたしました。また、メキシカンファストフード業態「Taco Bell」は、大阪初出店となる「Taco Bell道頓堀店」を、今夏にオープンすることを決定しております。

「海外市場への進出」におきましては、英国及びEU圏の販売・流通事業を統括する持株会社Atariya Foods Limitedを平成29年4月1日に設立しました。これにより同地域での事業拡大を目指す体制が整い、「食のバリューチェーンを構築する」を欧州においても積極的に展開してまいります。アジアでは、株式会社フードスタンドインターナショナルが、タイ・バンコクに出店した同社初のカフェ業態「GOKOKU CAFE」の2号店を5月に開店いたしました。

「食品生産事業と六次産業化」におきましては、株式会社弘乳舎が、全国の「牛角」ブランド店へのPBアイスクリームの提供をはじめ、グループ外企業のPB商品の開発・販売も積極的に展開しております。九州乳業株式会社は、ヨーグルトや豆乳を中心とした製品開発を続けており、販路をディスカウントストア等にも拡大することで、着実に収益基盤の拡充を進めております。茨城乳業株式会社と九州乳業株式会社において、共同生産販売体制を構築し、全国規模の事業エリアの拡大を進めております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,972百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益は361百万円（前年同四半期比9.4%減）、経常利益は341百万円（前年同四半期比0.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は360百万円（前年同四半期比141.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①販売

当第1四半期末における当社グループの店舗数は前述の通り717店舗となりました。内訳は直営店115店舗（前年同四半期比46店舗の増加）、フランチャイズ店602店舗（前年同四半期比7店舗の減少）となります。「ベーグル&ベーグル」など43店舗、「牛角」9店舗を含め、合計64店舗が増加した一方、焼鳥ブランド「とりでん」8店舗やラーメンブランド「どさん子」6店舗、居酒屋ブランド「おだいどこ」3店舗など、合計25店舗が減少いたしました。前述のとおり、前期11月に子会社化した株式会社ドリームコーポレーションの売上が寄与した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,814百万円（前年同四半期比35.2%増）、営業利益は221百万円（同18.6%増）となりました。

## ②流通

当社グループの流通事業部門は海外子会社7社により構成されております。前期子会社化したオランダ2社（Atariya Foods Netherland B.V. 及びAki Horeca B.V.）や英国T&S Enterprises (London) Limitedの売上が堅調に推移いたしましたが、仕入価格高騰などの影響により、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,050百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は32百万円（同47.9%減）となりました。

## ③生産

当社グループの生産事業部門は、乳製品製造加工を行う3社及び肉用・乳用仔牛の肥育を行う株式会社TOMONI ゆめ牧舎の計4社により構成されております。前述のとおり、グループ外企業のPB商品の開発・販売の強化やグループ内企業との共同生産販売体制構築による全国規模の事業エリアの拡大に努めております。株式会社弘乳舎は、脱脂粉乳やバターなど乳製品と輸入食品原材料の販売が増加いたしました。利益率の高い余乳処理事業が減少したことや、株式会社TOMONI ゆめ牧舎の設備投資に伴う償却負担増などの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,102百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は226百万円（同9.9%減）となりました。

④その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業等による売上があり、当第1四半期連結累計期間における売上高は5百万円（前年同四半期比35.2%減）、営業利益は4百万円（同44.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は27,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ408百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が235百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、19,261百万円となり、前連結会計年度末に比べ、744百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金430百万円減少したことによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益360百万円の計上等により、前連結会計年度末と比べ336百万円増加し、8,052百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,305,971	6,070,122
受取手形及び売掛金	3,840,460	3,914,582
商品及び製品	1,154,067	1,131,069
仕掛品	23,366	36,774
原材料及び貯蔵品	368,514	364,427
その他	1,726,703	1,628,233
貸倒引当金	△76,747	△102,556
流動資産合計	13,342,335	13,042,654
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,074,486	3,074,486
その他(純額)	3,422,481	3,472,331
有形固定資産合計	6,496,967	6,546,817
無形固定資産		
のれん	3,709,525	3,575,653
その他	104,630	92,463
無形固定資産合計	3,814,156	3,668,116
投資その他の資産	4,068,802	4,056,672
固定資産合計	14,379,926	14,271,606
資産合計	27,722,261	27,314,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,754,801	2,750,785
短期借入金	3,063,880	3,057,198
1年内返済予定の長期借入金	3,305,634	3,230,695
未払法人税等	155,738	76,724
賞与引当金	24,824	36,053
店舗閉鎖損失引当金	—	7,924
その他	2,173,157	2,003,607
流動負債合計	11,478,037	11,162,988
固定負債		
長期借入金	6,123,300	5,692,535
債務保証損失引当金	68,176	67,332
退職給付に係る負債	408,938	393,020
資産除去債務	267,146	267,691
その他	1,660,718	1,678,186
固定負債合計	8,528,279	8,098,767
負債合計	20,006,316	19,261,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	2,881,267	2,915,847
利益剰余金	1,751,314	2,111,574
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	7,541,517	7,936,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,440	69,670
為替換算調整勘定	△233,444	△270,861
その他の包括利益累計額合計	△170,004	△201,190
新株予約権	6,680	6,680
非支配株主持分	337,751	310,658
純資産合計	7,715,945	8,052,504
負債純資産合計	27,722,261	27,314,260

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,769,774	9,972,903
売上原価	6,256,519	6,892,547
売上総利益	2,513,254	3,080,356
販売費及び一般管理費	2,114,180	2,718,674
営業利益	399,074	361,681
営業外収益		
受取利息	8,080	7,596
受取配当金	9	9
受取家賃	4,526	7,402
その他	10,215	15,869
営業外収益合計	22,831	30,877
営業外費用		
支払利息	36,017	35,034
持分法による投資損失	9,349	2,260
その他	36,667	14,198
営業外費用合計	82,033	51,493
経常利益	339,871	341,065
特別利益		
固定資産売却益	4,219	171
投資有価証券償還益	—	9,040
出資金返還益	—	15,000
貸倒引当金戻入額	1,516	—
その他	1,505	2,176
特別利益合計	7,241	26,387
特別損失		
固定資産除却損	6,741	277
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	7,924
災害による損失	13,743	16,210
その他	2,850	3,764
特別損失合計	23,334	28,177
税金等調整前四半期純利益	323,779	339,276
法人税、住民税及び事業税	125,233	82,232
法人税等調整額	37,615	△111,533
法人税等合計	162,848	△29,300
四半期純利益	160,930	368,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,753	8,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,176	360,259



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	160,930	368,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,698	6,747
為替換算調整勘定	△72,146	△37,416
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,015	△517
その他の包括利益合計	△78,860	△31,186
四半期包括利益	82,069	337,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,315	329,072
非支配株主に係る四半期包括利益	11,753	8,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。